

# 経済統計 練習問題

## 第21回 物価指数(5)

2018年12月12日

問1 小売物価統計調査(動向編)では、具体的にどのような銘柄が調査されているのか。それぞれの品目に対応する、平成30年12月時点の調査銘柄を  の中に記入せよ。

| 符号   | 調査品目   | 銘柄 |
|------|--------|----|
| 1051 | カップ麺   |    |
| 1761 | チョコレート |    |
| 1911 | 紅茶     |    |
| 4451 | 殺虫剤    |    |
| 9251 | 辞書     |    |

その他、自分で「おもしろい」と思った調査品目を自分で取り上げ、2つ以上 ①符号、①調査品目、①銘柄を別紙に記入しよう。

問 2 下の表は指数の接続に関して、平成 22 年基準の消費者物価指数 (持家の帰属家賃除く総合) の年平均の指数をまとめたものである。この表について書かれた下の文章の空欄を埋め、さらにこの表を完成させよ。ただし、\_\_\_には語句、には数値が入る。

|               | 平成 22 年基準指数 | 平成 27 年基準指数 |
|---------------|-------------|-------------|
| 平成 22(2010) 年 | 100.0       |             |
| 平成 23(2011) 年 | 99.7        |             |
| 平成 24(2012) 年 | 99.7        |             |
| 平成 25(2013) 年 | 100.2       |             |
| 平成 26(2014) 年 | 103.6       |             |
| 平成 27(2015) 年 | 104.6       | 100.0       |

平成 22 年基準指数を平成 27 年基準指数に改定する際には、「指数の接続」という手法が用いられる。基準改定の際に、過去の指数は新しいウエイトで再計算するべきであるが、\_\_\_\_\_ などがあるため、この手法が用いられる。

この手法は、過去の指数の数値を新しい基準年を 100 とする数値に変換するものである。ラスパイレス指数は \_\_\_\_\_ を満たさないので、理論的には問題のある手法である。

平成 22 年から 26 年までの指数の値を、平成 27 年を 100 とする数値に変換するには、各年のデータを

で割って 100 倍することによって求められる。

平成 26 年であれば、 ÷  × 100 =  が平成 27 年を 100 とする数値である。他の年も同様の方法で求めることができる。

問 3 次の (あ) ~ (き) の文章について、正しければ○ 間違っていれば× を解答欄に記入せよ。

- (あ) 日本の消費者物価指数は、フィッシャー指数で算出されている。
- (い) ラスパイレス指数は、購入数量を基準時の数量  $q_{0i}$  で一定とした 2 時点間の購入金額の比であり、基準時の購入金額 ( $p_{0i}q_{0i}$ ) をウエイトとする加重平均指数である。
- (う) ラスパイレス指数が時点逆転テストを満たさないのに対し、パーシェ指数は時点逆転テストを満たす。
- (え) フィッシャー指数は、時点逆転テストと要素逆転テストをともに満たす。
- (お) 通常の場合、ラスパイレス指数はパーシェ指数より大きくなる。
- (か) 日本の消費者物価指数では、5 年ごとにウエイトの改定をおこなっている。
- (き) 消費者物価指数の算出に用いる価格のデータは、全国物価統計調査によって得られる。

解答欄

| (あ) | (い) | (う) | (え) | (お) | (か) | (き) |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |     |     |